

2020年2月15日

電子情報工学専攻 修士論文評価シート

主査用

学生氏名：

評価者氏名：

修士論文の評価

採点方法：各項目において、セル内の記述に沿って5段階の評価枠を決め、括弧内の評価点を水色のセルに記入して下さい

	評価点	5(100-90)	4(89-80)	3(79-70)	2(69-60)	1(59-0)
論文内容		背景、目的、方法、結果、考察が適切に記述され、研究成果を良く理解できる。	背景、目的、方法、結果、考察が概ね適切に記述され、研究成果を概ね理解できる。	背景、目的、方法、結果、考察がある程度適切に記述され、研究成果をおおよそ理解できる。	背景、目的、方法、結果、考察の記述が不十分なところがあるが、研究成果をなんとか理解することができる。	背景、目的、方法、結果、考察の記述が全く不十分であり、研究成果を理解することができない。
研究能力		設定された研究課題に対して新たな解決方法を自ら提案でき、それを実施できている。研究実施により相当な新たな知見が得られている。	設定された研究課題に対して新たな解決方法を一部自ら提案でき、それを概ね実施できている。研究実施により十分な新たな知見が得られている。	設定された研究課題に対して、新たな解決方法を一部自ら提案し、それを概ね実施できている。研究実施によりある程度の新たな知見が得られている。	設定された研究課題に対して、新たな解決方法を理解し、それを一部は実施できている。研究実施により若干の新たな知見が得られている。	設定された研究課題に対して、解決方法の理解が足りていない。かつ、研究実施により新たな知見が得られていない。
英語能力		論文に使われる英語の綴り、構文、書式、句読点が適切である。	論文に使われる英語の綴り、構文、書式、句読点が概ね適切である。	論文に使われる英語の綴り、構文、書式、句読点がある程度適切である。	論文に使われる英語の綴り、構文、書式、句読点に多くの誤りがあるが、なんとか理解できる。	論文に使われる英語の綴り、構文、書式、句読点の誤りによって全く理解できない。
表現能力		研究内容を説明するために適切な表現や図表が用いられており、研究の成果を十分に説明できている。	研究内容を説明するために概ね適切な表現や図表が用いられており、研究の成果を概ね説明できている。	研究内容を説明するために表現や図表の用い方に適切でない部分があり、研究の成果をある程度説明できている。	研究内容を説明するための表現や図表の用い方に適切でない部分が多くあり、研究の成果を説明ができていないところが多くあるが、なんとか理解できる。	研究内容を説明するための表現や図表の用い方が適切でなく、研究の成果を全く説明できていない。
修士論文作成過程における研究姿勢		評価対象者の研究姿勢は以下のいずれかであると認められる。 ・研究活動日誌の記入率が90%以上である。 ・研究に関する口頭試問の成績が90点以上である。 ・2年間の研究時間は2500時間以上である。	評価対象者の研究姿勢は以下のいずれかであると認められる。 ・研究活動日誌の記入率が90%未満80%以上である。 ・研究に関する口頭試問の成績が90点未満80点以上である。 ・2年間の研究時間は2500時間未満1900時間以上である。	評価対象者の研究姿勢は以下のいずれかであると認められる。 ・研究活動日誌の記入率が80%未満70%以上である。 ・研究に関する口頭試問の成績が80点未満70点以上である。 ・2年間の研究時間は1900時間未満1500時間以上である。	評価対象者の研究姿勢は以下のいずれかであると認められる。 ・研究活動日誌の記入率が70%未満60%以上である。 ・研究に関する口頭試問の成績が70点未満60点以上である。 ・2年間の研究時間は1500時間未満1100時間以上である。	評価対象者の研究姿勢は以下のいずれかであると認められる。 ・研究活動日誌の記入率が60%未満である。 ・研究に関する口頭試問の成績が60点未満である。 ・2年間の研究時間は1100時間未満である。
教員評価点		0				

主査の論文評価について以下のように取り決める。 2020/8/7

1. 教員評価点は、研究姿勢とその他の評価項目の合計を4:1の割合で評価する。

2. 修士論文作成過程における研究姿勢の評価に関して以下のように取り決める。

- 2-1. 研究日誌記入率と研究時間を利用する場合は算定資料の保管、口頭試問の成績の場合は任意形式の主査の報告書を保管する。
- 2-2. 研究日誌記入率と研究時間の取り扱いは、審査の時期に応じて以下のように定める。
 - ・令和2年度秋季修了予定学生に関しては研究時間のみの教員の裁量で評価できる。
 - ・上記以降の修了予定学生は、研究室単位で令和2年夏以降に集計をはじめ、基準を集計期間に応じて変えたものを適用する。
- 2-3. 研究活動日誌の記入率算出に用いる分母にあたる全研究可能日数は、各研究室独自に定めてよい。

副査用

学生氏名：

評価者氏名：

修士論文の評価

採点方法：各項目において、セル内の記述に沿って5段階の評価枠を決め、括弧内の評価点を水色のセルに記入して下さい

	評価点	5(100-90)	4(89-80)	3(79-70)	2(69-60)	1(59-0)
論文内容		背景、目的、方法、結果、考察が適切に記述され、研究成果を良く理解できる。	背景、目的、方法、結果、考察が概ね適切に記述され、研究成果を概ね理解できる。	背景、目的、方法、結果、考察がある程度適切に記述され、研究成果をおおよそ理解できる。	背景、目的、方法、結果、考察の記述が不十分なところがあるが、研究成果をなんとか理解することができる。	背景、目的、方法、結果、考察の記述が全く不十分であり、研究成果を理解することができない。
研究能力		設定された研究課題に対して新たな解決方法を自ら提案でき、それを実施できている。研究実施により相当な新たな知見が得られている。	設定された研究課題に対して新たな解決方法を一部自ら提案でき、それを概ね実施できている。研究実施により十分な新たな知見が得られている。	設定された研究課題に対して、新たな解決方法を一部自ら提案し、それを概ね実施できている。研究実施によりある程度の新たな知見が得られている。	設定された研究課題に対して、新たな解決方法を理解し、それを一部は実施できている。研究実施により若干の新たな知見が得られている。	設定された研究課題に対して、解決方法の理解が足りていない。かつ、研究実施により新たな知見が得られていない。
英語能力		論文に使われる英語の綴り、構文、書式、句読点が適切である。	論文に使われる英語の綴り、構文、書式、句読点が概ね適切である。	論文に使われる英語の綴り、構文、書式、句読点がある程度適切である。	論文に使われる英語の綴り、構文、書式、句読点に多くの誤りがあるが、なんとか理解できる。	論文に使われる英語の綴り、構文、書式、句読点の誤りによって全く理解できない。
表現能力		研究内容を説明するために適切な表現や図表が用いられており、研究の成果を十分に説明できている。	研究内容を説明するために概ね適切な表現や図表が用いられており、研究の成果を概ね説明できている。	研究内容を説明するために表現や図表の用い方に適切でない部分があり、研究の成果をある程度説明できている。	研究内容を説明するための表現や図表の用い方に適切でない部分が多くあり、研究の成果を説明ができていないところが多くあるが、なんとか理解できる。	研究内容を説明するための表現や図表の用い方が適切でなく、研究の成果を全く説明できていない。
教員評価点	#DIV/0!					

論文評価について以下のように取り決める。 2020/8/7

1. 教員評価点は各評価点の平均値とする。